

# 女子の未婚残存率に就て

大 月 照 江

從來我が國に於ける結婚難は青年男子自身の經濟的無力、自由主義的思想の影響と共に、女子の教育程度の上昇、職業界進出の逐年増加等に伴ひ、男女共通の問題であつたのであるが、今次支那事變勃發以後は多數壯丁の出征、勞働力不足のため生産年齢層の産業地區集中により、適齡期男子の激減が特に女子の結婚難を加速度的に深刻化せしめてゐるのである。

昭和十六年一月二十二日閣議で決定された「人口政策確立要綱」は人口増殖の見地から男女の、特に女子の婚姻年齢の引下げを提唱してゐる。即ち昭和十三年現在の全國平均初婚年齢は男子二八・三九歳、女子二四・四一歳であるが、今後の十年間に、現在に比し三年早めると同時に、一夫婦の平均出生兒數を現在の四兒より五兒に引上げることを目標としてゐるのである。早婚を奨励するためには先づ現状を審かにし、如何なる原因が晩婚的傾向及び結婚難を助成してゐるかを知らんと共に、その障礙物たる原因を除去して具體的對策を練る必要があるのである。

本稿は現状を探る一助にもと、法律婚の許される十五歳より婚姻適齡期にある二四歳迄を除き、而も尙妊孕期間内の年齢層にある二五歳より四四歳迄の女子の未婚残存率を検討してみたものである。

使用せる資料は未發表のため引用不可能な昭和十五年度を除く、過去四回の國勢調査年次を採り、特に明記せるものの外は内閣統計局編、國勢調

女子の未婚残存率に就て

査諸資料、帝國統計年鑑、人口動態統計等を利用した。國勢調査年度の女子總人口及び全國、郡部、六大都市の女子未婚者數を比較し、更に横濱、神戸兩海港都市との關係をみるために、長崎、函館、下關の三都市を參考として採つてみた。

以下統計の示すところに従ひ、少しく解説を試みてみたいと思ふ。尙本稿に挿入の各表は、各歳別の女子總人口と、同じく女子未婚者總數を採り、後者を前者で除してその未婚残存率を算出したものである。

## 一、全國の未婚率

先づ全國の女子未婚残存率に就て若干の數字を指摘してみると、大正九年の第一回國勢調査に於ては二五歳では一二・九五%であるが、大正十四年には一一・一三%に減少して居り、更に昭和五年には一三・〇六%、昭和十年には一六・五四%と再び上昇を示してゐるのである。これは以下凡ゆる場合に關して言ひ得る如く、第一回の國勢調査に際して調査主旨の不徹底と共に從來の因習道徳に捉はれて世間體を怖れ、内縁關係者は殆ど有配偶者として登録されてゐない關係から未婚率を高めてゐることが記憶されなくてはならない。従つて大正十四年度の残存率低下の一大原因は登録の主旨が稍、徹底したための現象と解すべきものであり、昭和五年及び同十年と後年度に及ぶに従ひ事實上未婚者が増加してゐるものと見做されるのである。

次に三〇歳では大正九年には五・二八%、同十四年には四・三五%、昭和五年には四・五三%、同十年には五・二八%を示してゐる。大正九年が同十四年より高率なのは二五歳の例と同様の理由によるものと考へられ、従つて未婚者の率は各國勢調査年次を追つて近年に至るに従ひ上昇してゐるものと考へられる。これは女子の高等教育の普及及び職業界進出の關係に加

第一表 女子未婚人口 (全國)

昭和 1 0 年			年 齡	昭和 5 年		
女子總數	未婚者	未婚率		女子總數	未婚者	未婚率
554,063	91,642	16.54	25	481,256	62,832	13.06
553,608	69,429	12.54	26	461,284	44,887	9.73
523,005	51,395	9.83	27	477,735	36,935	7.73
503,334	41,448	8.23	28	474,166	29,716	6.27
435,825	30,324	6.96	29	460,436	24,636	5.36
458,296	24,194	5.28	30	433,927	19,663	4.53
437,229	19,248	4.40	31	407,310	16,137	3.96
458,719	17,645	3.85	32	422,269	15,660	3.71
457,304	15,531	3.40	33	390,638	13,162	3.37
441,597	13,557	3.07	34	384,481	11,525	3.00
420,085	11,627	2.77	35	374,775	10,238	2.73
387,726	9,711	2.50	36	356,739	9,229	2.59
402,106	9,832	2.45	37	340,407	7,911	2.32
372,748	8,570	2.30	38	344,027	7,409	2.15
369,735	7,662	2.07	39	311,980	6,830	2.19
355,587	6,953	1.96	40	327,957	6,647	2.03
337,520	6,310	1.87	41	343,896	6,459	1.88
322,809	5,482	1.70	42	324,108	5,676	1.75
327,249	5,541	1.69	43	317,016	5,261	1.66
295,219	5,084	1.72	44	285,567	4,723	1.65

大 正 1 4 年			年 齡	大 正 9 年		
女子總數	未婚者	未婚率		女子總數	未婚者	未婚率
462,179	54,462	11.13	25	416,528	53,956	12.95
427,747	37,540	8.78	26	397,665	41,568	10.45
438,005	32,451	7.41	27	378,191	31,826	8.42
405,614	24,889	6.14	28	378,746	26,761	7.07
403,423	20,547	5.09	29	344,814	21,321	6.18
388,669	16,897	4.35	30	361,079	19,082	5.28
368,074	14,267	3.88	31	379,946	16,963	4.46
354,379	11,691	3.30	32	363,827	14,338	3.94
360,271	11,167	3.10	33	352,664	12,056	3.42
324,518	9,500	2.93	34	318,491	10,256	3.22
343,788	9,140	2.66	35	334,543	10,002	2.99
360,040	8,694	2.41	36	342,127	9,631	2.82
341,824	7,638	2.23	37	342,228	9,028	2.64
331,931	6,979	2.10	38	337,205	8,635	2.56
303,256	6,074	2.00	39	346,864	8,525	2.46
313,581	5,971	1.90	40	319,173	7,443	2.33
319,763	5,806	1.82	41	332,044	7,348	2.21
319,798	5,558	1.74	42	319,390	6,711	2.10
317,930	5,800	1.82	43	311,378	6,400	2.06
326,469	7,083	2.17	44	321,525	6,496	2.02

へて、昭和四年以後の世界的不況の影響と見做されるのである。

然し何と云つても大多數の女子は三〇歳迄に結婚するのであつて、その未婚率は急速に減少してゐるが、三〇歳より四四歳迄は等しく年齢の増すにつれて低下してゐるとは云へ、その速度は至つて緩慢である。尙注目すべきことは各年度共四四歳では未婚率は極く僅少となり、全国的にみて生涯家庭生活に入らぬ女子の数は取るに足らぬものであると云ふことである。

## 二、郡部の未婚率

郡部の未婚残存率は豫期の如く、全国よりも六大都市のそれよりも最も低率である。云ふまでもなく全国の統計は残存率高き六大都市及び其他の比較的大人口を擁する都市を含んでゐるのであるが、郡部はそれらを除くものだからである。即ち農村の女子は都市のそれに比して早婚であること及び多數の農村女子が事變以前には離村して都市の生産其他の有業人口に参加してゐることもこの傾向に拍車をかけてゐるのである。現在では状態は一變してゐるが、事變前の女子の離村は却つて農村青年の結婚難の因を爲してゐたのであるから、斯る事實は農村に居残る青年女子の早婚傾向を助成してゐると云ふことも考へ得るのである。

郡部に於ても全国と同様、大正十四年が最も低率を示してゐる。従つてその理由は等しいものであるが、斯かる傳統的風習を固持する傾向は特に郡部に於て著しいものであるから内縁關係に就ても統計的に全国に比し、より顯著に現れてゐるものと考へられるのである。故に昭和十年の二五歳より二九歳を除いて大正九年が平均して最も高率を示してゐるのは斯かる理由に基くものではないかと考へられるのである。

大正九年に比して内縁關係が稍、徹底的に有配偶者として登録されるに

女子の未婚残存率に就て

至つたことは、他年度に於ける未婚残存率を低下せしめた一の有力な理由であるが、尙且全體的には大體全国と同様の傾向を辿つて後年度程上昇を示してゐるのは、世界大戦以後農村女子が多數離村して有業人口として進出するに至つたことによるものと思惟されるのである。其他に關しても略、全国と同様のことを言ひ得るのである。

## 三、六大都市の未婚率

前述の如く寧ろ例外的な神戸を除いては、郡部は勿論のこと、全国よりも六大都市は遙かに未婚残存率が高いのである。これは都市には地方出身の結婚適齡期前後にある女子が多數生産其他の方面に活動して居り、都市在住の女子にとつては、農村に於て結婚後もその未婚時代の生活様式の延長として家業に従事し得るのと異り、商業方面を除いては結婚は往々にしてその退職を意味することになるので、經濟的其他の理由から婚期を失し易い關係にあり、女子教育の普及と共に必然的に未婚残存率を上昇せしめてゐるものと考へられるのである。

各國勢調査年次に互り、全国及び郡部を六大都市と比較するため、二五、三〇、四〇、四四の各歳別人口に關する残存率の差を擧げてみると左の如くである。

A、先づ都市を含む全国平均より郡部の平均を差引いてみると、第四表の如くその差は後年度に至る程増大の傾向を示してゐるが、第五及び第六表に見る如き大差は現はれないのである。

B、全国平均に比すると第五表の如く若干の例外を除いては豫期の如く都市が大體高率を示してゐる。

C、六大都市を郡部平均に比すると、第六表の如く一、二の些細な例外を除いて都市が著しく高率を示してゐるのである。

第二表 女子未婚人口 (郡部)

昭和10年			年 齡	昭和5年		
女子總數	未婚者	未婚率		女子總數	未婚者	未婚率
332,918	45,442	13.65	25	341,596	38,253	11.20
338,194	34,467	10.19	26	329,356	27,047	8.21
320,791	25,262	7.89	27	343,545	22,212	6.47
308,591	19,951	6.47	28	343,107	17,888	5.21
272,257	14,796	5.43	29	334,145	14,911	4.46
286,415	11,819	4.13	30	316,474	11,926	3.77
275,988	9,603	3.48	31	298,334	9,918	3.32
292,748	8,901	3.04	32	310,426	9,640	3.11
293,991	7,995	2.72	33	290,335	8,242	2.84
284,501	7,030	2.47	34	288,613	7,262	2.52
272,596	6,155	2.26	35	280,728	6,525	2.32
254,366	5,322	2.09	36	268,020	5,850	2.18
265,702	5,416	2.04	37	257,041	5,130	2.00
248,675	4,881	1.96	38	260,887	4,825	1.85
251,110	4,441	1.77	39	237,526	4,531	1.91
241,277	4,112	1.70	40	250,079	4,390	1.76
230,088	3,705	1.61	41	263,943	4,288	1.62
221,701	3,239	1.46	42	248,830	3,824	1.54
225,808	3,393	1.50	43	245,837	3,556	1.45
205,088	3,165	1.54	44	219,732	3,135	1.43

大正14年			年 齡	大正9年		
女子總數	未婚者	未婚率		女子總數	未婚者	未婚率
341,810	32,812	9.60	25	327,326	37,360	11.41
318,036	23,851	7.50	26	312,732	28,526	9.12
326,284	20,447	6.27	27	298,669	21,702	7.27
305,776	15,988	5.23	28	300,433	18,196	6.06
307,120	13,475	4.39	29	274,266	14,624	5.33
295,649	11,023	3.73	30	287,962	13,073	4.54
280,860	9,363	3.33	31	304,655	11,570	3.79
272,093	7,746	2.85	32	291,860	9,780	3.35
277,392	7,418	2.67	33	285,432	8,325	2.92
250,623	6,403	2.55	34	255,404	6,999	2.74
265,732	6,214	2.34	35	269,794	6,864	2.54
280,220	5,881	2.10	36	277,554	6,832	2.46
266,018	5,274	1.98	37	278,339	6,370	2.29
260,789	4,912	1.88	38	274,857	6,198	2.25
236,381	4,265	1.80	39	285,271	6,165	2.16
245,594	4,210	1.71	40	261,980	5,366	2.05
252,295	4,269	1.69	41	273,973	5,367	1.96
253,567	4,034	1.59	42	263,381	4,898	1.86
252,104	4,244	1.68	43	257,900	4,754	1.84
260,632	5,195	1.99	44	266,156	4,772	1.79

第三表 女子未婚人口 (六大都市)

女子の未婚残存率に就て

大正9年 年 齡	東 京 市			大 阪 市			名 古 屋 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	19,875	4,352	21.90	11,874	2,175	18.32	3,832	707	18.45
26	19,612	3,622	18.47	10,845	1,604	14.79	3,686	549	14.89
27	17,923	2,783	15.53	10,172	1,275	12.53	3,243	422	13.01
28	17,895	2,389	13.35	9,980	1,024	10.26	3,254	338	10.39
29	16,533	1,925	11.64	8,517	751	8.82	3,196	308	9.64
30	16,822	1,692	10.06	9,164	747	8.15	3,111	262	8.42
31	17,009	1,438	8.45	9,641	653	6.77	3,247	232	7.15
32	15,942	1,203	7.55	9,234	576	6.24	3,141	208	6.62
33	15,241	1,008	6.61	8,190	456	5.57	3,088	201	6.51
34	14,691	955	6.50	7,602	392	5.16	2,833	139	4.91
35	14,443	878	6.08	8,128	405	4.98	2,947	146	4.95
36	14,147	700	4.95	7,896	325	4.12	2,925	129	4.41
37	13,812	691	5.00	7,997	315	3.94	2,870	124	4.24
38	13,246	637	4.81	7,864	310	3.94	2,913	112	3.84
39	12,657	598	4.72	7,791	270	3.47	2,812	113	4.02
40	12,345	565	4.58	7,044	250	3.55	2,543	79	3.11
41	12,022	516	4.29	7,220	234	3.24	2,538	115	4.53
42	11,615	443	3.81	7,179	208	2.90	2,303	72	3.13
43	10,794	415	3.84	6,831	183	2.68	2,154	77	3.57
44	11,435	428	3.74	6,856	187	2.73	2,485	101	3.96

	京 都 市			神 戸 市			横 濱 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	5,200	1,106	21.27	5,890	799	13.57	3,761	596	15.85
26	4,874	903	18.53	5,442	633	11.63	3,944	540	13.69
27	4,534	690	15.22	5,100	491	9.63	3,597	371	10.31
28	4,624	615	13.30	5,051	398	7.88	3,490	358	10.26
29	4,029	497	12.34	4,353	335	7.70	3,205	259	8.08
30	4,208	407	9.67	4,538	394	8.68	3,278	261	7.96
31	4,296	412	9.59	4,724	249	5.27	3,447	225	6.53
32	4,134	346	8.37	4,533	215	4.74	3,371	185	5.49
33	3,616	270	7.47	4,035	152	3.77	3,083	149	4.83
34	3,697	252	6.82	3,690	147	3.98	3,010	142	4.72
35	3,832	229	5.98	3,763	114	3.03	2,808	103	3.67
36	3,788	212	5.60	3,894	107	2.75	2,948	115	3.90
37	3,795	208	5.48	3,766	109	2.89	2,732	100	3.66
38	3,729	193	5.18	3,775	89	2.36	2,673	98	3.67
39	3,707	209	5.64	3,658	93	2.54	2,622	87	3.32
40	3,503	152	4.34	3,273	97	2.96	2,481	71	2.86
41	3,601	147	4.08	3,359	76	2.26	2,474	66	2.67
42	3,477	149	4.29	3,282	76	2.32	2,358	80	3.39
43	3,461	131	3.79	3,057	60	1.96	2,264	61	2.69
44	3,469	138	3.98	3,238	79	2.44	2,282	64	2.80

第三表 女子未婚人口（六大都市）（續）

大正 <sup>14</sup> 年 年 齡	東 京 市			大 阪 市			名 古 屋 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	18,409	3,481	18.91	21,799	2,979	13.67	6,839	1,024	14.97
26	17,009	2,601	15.29	19,676	2,172	11.04	6,416	702	10.94
27	16,837	2,190	13.01	20,320	2,009	9.89	6,367	671	10.54
28	15,352	1,740	11.33	17,680	1,400	7.92	5,512	422	7.66
29	14,396	1,280	8.89	17,063	1,077	6.31	5,614	399	7.11
30	14,438	1,103	7.64	16,382	889	5.43	5,370	383	7.13
31	13,626	997	7.32	14,851	739	4.98	5,239	257	4.91
32	12,833	745	5.81	13,943	633	4.54	4,677	242	5.17
33	13,147	750	5.70	14,114	581	4.12	4,707	209	4.44
34	12,006	609	5.07	11,910	498	4.18	4,556	188	4.13
35	12,461	577	4.63	12,941	420	3.25	4,458	163	3.66
36	12,511	530	4.24	13,146	374	2.84	4,549	184	4.04
37	11,704	443	3.79	12,701	366	2.88	4,466	159	3.56
38	11,285	397	3.52	11,188	281	2.51	4,306	144	3.34
39	11,005	368	3.34	10,386	257	2.47	3,985	114	2.86
40	10,808	354	3.28	11,049	260	2.35	4,131	120	2.90
41	10,422	284	2.73	10,611	200	1.88	4,011	103	2.57
42	10,000	266	2.66	10,686	226	2.11	3,923	92	2.35
43	10,169	312	3.07	10,407	224	2.15	4,105	103	2.51
44	9,685	310	3.20	10,564	320	3.03	3,949	109	2.76

  

年 齡	京 都 市			神 戶 市			橫 濱 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	6,176	1,238	20.05	6,768	699	10.33	3,983	430	10.80
26	5,778	907	15.70	6,221	544	8.74	3,642	345	9.47
27	5,756	871	15.13	6,594	507	7.69	3,663	300	8.19
28	5,024	605	12.04	5,883	390	6.63	3,494	198	5.67
29	4,895	524	10.70	5,466	280	5.12	3,309	159	4.81
30	4,856	394	8.11	5,031	221	4.39	3,130	120	3.83
31	4,550	362	7.96	4,650	193	4.15	3,143	122	3.88
32	4,184	293	7.00	4,418	149	3.37	2,959	96	3.24
33	4,347	261	6.00	4,441	129	2.90	2,842	86	3.03
34	3,865	266	6.88	3,826	100	2.61	2,552	68	2.66
35	4,012	219	5.46	4,120	95	2.31	2,662	81	3.04
36	3,973	192	4.83	4,220	101	2.39	2,837	79	2.78
37	3,930	187	4.76	3,960	73	1.84	2,717	74	2.72
38	3,500	155	4.43	3,666	49	1.34	2,506	58	2.31
39	3,546	156	4.40	3,421	51	1.49	2,387	56	2.35
40	3,619	140	3.87	3,433	42	1.22	2,271	39	1.72
41	3,633	129	3.55	3,470	37	1.07	2,318	34	1.47
42	3,509	135	3.85	3,318	46	1.39	2,182	41	1.88
43	3,624	137	3.78	3,335	32	0.96	2,145	35	1.63
44	3,550	152	4.28	3,375	37	1.10	2,116	41	1.94

第三表 女子未婚人口（六大都市）（續）

女子の未婚残存率に就て

昭和5年 年齢	東 京 市			大 阪 市			名 古 屋 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	19,603	4,846	24.72	24,173	3,732	15.44	8,065	1,111	13.78
26	17,625	3,357	19.05	22,848	2,726	11.93	7,667	891	11.62
27	17,306	2,757	15.93	23,169	2,276	9.82	7,998	765	9.56
28	16,807	2,146	12.77	22,923	1,798	7.84	7,694	610	7.93
29	16,149	1,798	11.13	22,177	1,475	6.65	7,482	512	6.84
30	14,855	1,366	9.20	20,193	1,172	5.80	6,740	433	6.42
31	13,998	1,158	8.27	18,587	883	4.75	6,339	321	5.06
32	13,793	1,103	8.00	19,389	947	4.88	6,373	336	5.27
33	12,703	906	7.13	17,088	775	4.54	5,520	241	4.37
34	11,864	768	6.47	16,024	623	3.89	5,550	262	4.72
35	11,930	656	5.50	15,702	532	3.39	5,415	248	4.58
36	11,531	643	5.58	14,378	505	3.51	5,202	171	3.29
37	10,661	529	4.96	13,432	414	3.08	4,700	143	3.04
38	10,904	476	4.37	13,274	351	2.64	4,734	161	3.40
39	10,039	455	4.53	11,384	324	2.85	4,493	129	2.87
40	10,492	437	4.17	12,253	310	2.53	4,371	132	3.02
41	10,363	420	4.05	12,464	275	2.21	4,446	135	3.04
42	9,760	340	3.48	11,848	268	2.26	4,370	118	2.70
43	9,319	334	3.58	10,763	237	2.20	4,253	119	2.80
44	9,198	309	3.36	9,793	228	2.33	3,760	79	2.10

	京 都 市			神 戸 市			横 濱 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	7,104	1,544	21.73	7,661	1,091	14.25	5,658	875	15.46
26	6,425	1,095	17.04	7,308	777	10.63	5,458	622	11.40
27	6,699	930	13.88	7,653	688	8.99	5,554	507	9.13
28	6,500	758	11.66	7,601	535	7.04	5,518	430	7.79
29	6,214	643	10.35	7,391	455	6.16	5,532	322	5.82
30	5,622	518	9.21	6,825	314	4.60	5,218	266	5.10
31	5,344	421	7.88	6,305	261	4.14	4,936	244	4.94
32	5,312	395	7.44	6,945	281	4.05	4,805	184	3.83
33	4,669	349	7.47	5,831	227	3.89	4,603	172	3.74
34	4,599	261	5.68	5,429	197	3.63	4,304	137	3.18
35	4,480	240	5.36	5,248	153	2.92	4,046	113	2.79
36	4,317	246	5.70	4,709	142	3.02	4,059	106	2.61
37	3,875	204	5.26	4,499	115	2.56	3,694	84	2.27
38	4,178	200	4.79	4,480	105	1.34	3,582	109	3.04
39	3,546	173	4.88	3,891	78	2.00	3,106	72	2.32
40	3,799	163	4.29	3,987	92	2.31	3,247	73	2.25
41	3,975	175	4.38	4,218	89	2.11	3,470	74	2.13
42	3,733	143	3.83	4,005	68	1.70	3,233	65	2.01
43	3,281	129	3.93	3,637	56	1.54	3,032	53	1.75
44	3,328	132	3.97	3,340	68	2.04	2,819	55	1.95

第三表 女子未婚人口（六大都市）（續）

昭和10年 年 齡	東 京 市			大 阪 市			名 古 屋 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	60,725	14,376	23.67	31,006	5,809	18.74	10,579	1,756	16.60
26	58,657	10,809	18.43	29,815	4,450	14.93	10,288	1,358	13.20
27	55,452	8,136	14.67	28,428	3,478	12.23	9,284	1,046	11.27
28	53,314	6,849	12.85	26,930	2,716	10.09	8,997	840	9.34
29	44,033	4,904	11.14	22,637	2,008	8.87	7,761	615	7.92
30	47,342	3,926	8.29	23,433	1,548	6.61	7,883	477	6.05
31	43,400	3,013	6.94	22,061	1,252	5.68	7,516	403	5.36
32	44,105	2,785	6.31	22,280	1,081	4.85	7,851	396	5.04
33	43,219	2,328	5.39	22,396	960	4.29	7,647	330	4.32
34	41,577	1,940	4.67	21,495	864	4.02	7,339	301	4.10
35	38,682	1,680	4.34	19,744	655	3.32	6,672	280	4.20
36	34,902	1,333	3.82	17,759	573	3.23	6,153	194	3.15
37	34,611	1,260	3.64	18,578	601	3.24	6,188	231	3.73
38	31,781	1,129	3.55	16,402	477	2.91	5,458	168	3.08
39	29,947	967	3.23	15,365	385	2.51	5,498	161	2.93
40	28,861	867	3.00	14,715	328	2.23	5,255	144	2.74
41	27,463	832	3.03	13,509	322	2.38	5,103	148	2.90
42	25,548	667	2.61	12,693	266	2.10	4,531	106	2.34
43	25,664	692	2.70	12,803	223	1.74	4,599	104	2.26
44	23,011	589	2.56	10,878	211	1.94	4,288	88	2.05

人口問題研究 第二卷 第十二號

	京 都 市			神 戶 市			橫 濱 市		
	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率	女子總數	未 婚 者	未 婚 率
25	11,029	2,458	22.29	9,535	1,702	17.85	6,766	1,357	20.06
26	10,373	1,786	17.22	9,423	1,344	14.27	6,706	1,060	15.81
27	9,732	1,413	14.52	8,756	978	11.17	6,298	742	11.78
28	9,506	1,182	12.43	8,328	859	10.31	60,26	595	9.87
29	8,039	857	10.66	7,059	557	7.89	5,016	441	8.79
30	8,049	626	7.78	7,329	458	6.25	5,493	345	6.28
31	7,457	518	6.95	6,947	348	5.01	5,183	265	5.11
32	7,694	453	5.89	7,166	337	4.70	5,379	264	4.91
33	7,594	423	5.57	7,199	282	3.92	5,297	211	3.98
34	7,412	377	5.09	6,959	255	3.66	5,242	182	3.47
35	6,747	318	4.71	6,516	189	2.90	5,006	160	3.20
36	6,324	268	4.24	5,842	139	2.38	4,446	123	2.76
37	6,346	282	4.44	6,386	164	2.57	4,433	112	2.53
38	5,634	227	4.03	5,495	155	2.82	4,272	98	2.29
39	5,423	202	3.72	5,068	113	2.23	4,034	72	1.78
40	5,362	166	3.10	4,732	101	2.13	3,781	72	1.90
41	4,957	143	2.88	4,441	90	2.03	3,795	66	1.74
42	4,714	139	2.95	4,137	77	1.86	3,365	56	1.66
43	4,963	145	2.92	4,203	69	1.64	3,311	71	2.14
44	4,328	121	2.80	3,599	56	1.56	3,009	54	1.79

第四表 全国と郡部の比較(%)

年次	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年
25	1.54	1.53	1.86	2.89
30	0.74	1.62	0.76	1.15
35	0.45	0.32	0.41	0.51
40	0.28	0.19	0.27	0.26
44	0.23	0.18	0.22	0.18

第五表 六大都市と全国の比較(%)

都市	東京	大阪	名古屋	京都	神戸	戸横	養
大正9年	8.95	5.37	5.50	8.32	0.62	2.90	2.90
30	4.78	2.87	3.14	4.39	3.40	2.68	2.68
35	3.09	1.99	1.96	2.99	0.04	0.64	0.64
40	2.25	1.22	0.78	2.01	0.63	0.53	0.53
44	1.72	0.71	1.94	1.96	0.42	0.78	0.78
大正14年	7.78	2.54	3.84	8.92	0.30	0.33	0.33
30	3.29	1.08	2.78	3.76	0.04	0.52	0.52
35	1.97	0.59	1.00	2.80	0.35	0.38	0.38
40	1.38	0.45	1.00	1.97	0.68	0.18	0.18
44	1.03	0.86	0.59	2.11	1.07	0.23	0.23
昭和5年	11.66	2.38	0.72	8.67	1.19	2.40	2.40
30	4.67	1.27	1.89	4.68	0.07	0.57	0.57
35	2.77	0.66	1.85	2.63	0.19	0.06	0.06
40	2.14	0.50	0.99	2.26	0.28	0.22	0.22
44	1.71	0.68	0.45	2.32	0.39	0.30	0.30
昭和10年	7.13	2.20	0.06	5.75	1.31	3.52	3.52
30	3.01	1.33	0.77	2.50	0.97	1.00	1.00
35	1.57	0.55	1.43	1.94	0.13	0.43	0.43
40	1.04	0.27	0.78	1.14	0.17	0.06	0.06
44	0.84	0.22	0.33	1.08	0.16	0.07	0.07

女子の未婚残存率に就て

第六表 六大都市と郡部の比較(%)

都市	東京	大阪	名古屋	京都	神戸	戸横	養
大正9年	10.49	6.91	7.04	9.88	2.16	4.44	4.44
30	5.52	3.61	3.88	5.13	4.14	3.42	3.42
35	3.52	2.44	2.41	3.44	0.49	1.13	1.13
40	2.53	1.50	1.06	2.29	0.91	0.81	0.81
44	1.95	0.94	2.17	2.19	0.65	1.01	1.01
大正14年	9.31	4.07	5.37	10.45	0.73	1.20	1.20
30	3.91	1.70	3.40	4.38	0.66	0.10	0.10
35	2.29	0.91	1.32	3.12	0.03	0.70	0.70
40	1.57	0.64	1.19	2.16	0.49	0.01	0.01
44	1.21	1.04	0.77	2.29	0.89	0.05	0.05
昭和5年	13.52	4.24	2.58	10.53	3.05	4.26	4.26
30	5.43	2.03	2.65	5.44	4.60	1.33	1.33
35	3.18	1.07	2.96	3.04	0.80	2.79	2.79
40	2.41	0.77	1.26	2.53	0.55	0.49	0.49
44	1.93	0.90	0.67	2.54	0.61	0.52	0.52
昭和10年	10.02	1.09	2.95	8.64	4.20	6.41	6.41
30	4.16	2.48	1.92	3.65	2.12	2.15	2.15
35	2.08	1.06	1.94	2.45	0.64	0.94	0.94
40	1.30	0.53	1.04	1.40	0.43	0.20	0.20
44	1.02	0.40	0.51	1.26	0.02	0.25	0.25

用1

六大都市を年度別に考へてみると、大正九年が一般的に高率を示してゐるのは、上述の内縁關係者が未婚者として分類されてゐる關係からであらうと考へられる。この傾向が名古屋に於て最も顯著に現はれてゐるのは、同市の未婚率が郡部型に稍、類似してゐる點に鑑み、當時内縁者を目指す因習的傾向が特に烈しく反映したものと考へ得るのであるが、或は登録に際して統計上に不備な點が介在してゐたのかも知れないのである。其他は多少の例外はあるが、大體の傾向としては近年に至るに従ひ、残存率は上昇を示してゐる。これは前述の如く主として女子の經濟的社會的進出がその婚期を延期乃至延長せしめてゐることと密接に關聯してゐるからであると思ふのである。

六大都市を都市別に見ると各自異なる現象を呈してゐるのであるが、その原因は明かでなく、寧ろ將來の研究課題として残されてゐるものが多いのである。従つて以下指摘する若干の事項も單に問題の所在を示唆する程度のものである。

東京市—未婚残存率が大正十四年の京都の例外を除いて常に最も高いのは東京であり、帝都の龐大なる人口中には他市に比して最も多くの獨身女子有業人口及び女子學生等が含まれてゐるものと考へられるのである。(全國的乃至都市別の女子有業人口に對する有配偶者の割合は存在しないのでその正確なる數字は不明である。即ち職業別人口中産業關係の年齢及び配偶關係別人口は出てゐるが、有業人口全體に關する配偶別のそれは現在迄は存在してゐないのである)。

大阪市—大産業都市であるから、未婚残存率は或は相當高いのではないかと考へられるのであるが、事實は豫想と異り、意外に低く大體六大都市

中第四位となつてゐる。

名古屋市—大正九年及び大正十四年は共に六大都市中第三位にあるのであるが、昭和五、十兩年度は共に最低に近く、同市の女子が早婚であることを暗示してゐる。

京都市—東京に次いで高く、大正十四年の如きは東京が一八・九一%であるに對し、京都は二〇・五%で六大都市中最高を示してゐるのである。京都市の未婚率は何故に斯く高率であるかに關して比較的同市の特徴であるかに考へられてゐる部門の人々、即ち生涯結婚せざる又は結婚生活に稍、無關係に考へられる尼僧、藝娼妓の數を試みに昭和五年の資料に就て調べてみたのであるが、第七表の示す如く、京都に於て特にそれらの方面の女子人口が多いと云ふ統計は見られないのである。

これは寧ろ京都が舊き傳統を有する都市であり、他の社會的原因が介在するものと考へられるのである。

第七表 尼僧、藝娼妓人口

	昭和五年	尼僧	藝娼妓	娼妓
東京	九五	五、九二九	五、四〇一	
大阪	二四三	三、一一一	七、四三一	
名古屋	三三五	二、四二〇	一、八八五	
京都	二四三	一、八七四	二、八四五	
神戸	七一	一、七四〇	一、六二四	
横濱	四三	八四八	六四九	

第八表 女子未婚人口(海港都市)

女子の未婚残存率に就て

大正 9年	長崎			函館			下関		
	年齢	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者
25	1,606	329	20.49	1,168	141	12.07	624	109	17.47
26	1,483	224	15.10	1,156	123	10.64	629	117	18.60
27	1,413	155	10.97	1,127	99	8.78	604	74	12.25
28	1,321	156	11.81	1,109	70	6.31	569	62	10.90
29	1,211	93	7.68	980	52	5.31	507	45	8.88
30	1,185	101	8.52	1,012	39	3.85	554	36	6.50
31	1,221	90	7.37	1,013	39	3.85	543	32	5.89
32	1,130	71	6.28	961	42	4.37	533	34	6.38
33	1,174	71	6.05	922	33	3.58	527	26	4.93
34	1,025	56	5.46	866	23	2.66	463	21	4.54
35	1,009	45	4.46	880	29	3.29	459	24	5.23
36	1,126	58	5.15	850	21	2.47	517	29	5.61
37	1,102	58	5.26	857	19	2.22	463	20	4.32
38	964	47	4.88	882	14	1.59	480	28	5.83
39	1,065	46	4.32	890	19	2.13	445	21	4.72
40	982	28	2.85	766	13	1.70	404	14	3.47
41	1,081	31	2.87	764	11	1.44	427	15	3.51
42	908	34	3.74	736	15	2.04	410	13	3.17
43	985	27	2.74	754	11	1.46	367	15	4.09
44	928	26	2.80	752	11	1.46	413	20	4.84

大正 14年	長崎			函館			下関		
	年齢	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者
25	1,760	334	18.98	1,460	173	11.85	4,118	401	9.74
26	1,573	260	16.53	1,291	116	8.99			
27	1,703	220	12.92	1,372	109	7.94			
28	1,571	146	9.29	1,273	76	5.97			
29	1,485	137	9.23	1,161	62	5.34			
30	1,433	105	7.33	1,094	42	3.84	3,016	134	4.40
31	1,287	77	5.98	1,112	45	4.05			
32	1,272	66	5.19	1,043	23	2.21			
33	1,255	60	4.78	1,077	24	2.23			
34	1,086	58	5.34	897	18	2.01			
35	1,122	34	3.03	962	8	0.83	2,814	64	2.27
36	1,170	51	4.36	951	18	1.89			
37	1,063	27	2.54	927	11	1.19			
38	1,044	38	3.64	918	9	0.98			
39	965	29	3.01	833	7	0.84			
40	956	29	3.03	834	4	0.48	2,454	50	2.04
41	1,020	31	3.04	778	8	1.03			
42	1,071	29	2.71	841	11	1.31			
43	882	17	1.93	819	7	0.86			
44	995	27	2.71	850	5	0.59			

第八表 女子未婚人口 (海港都市) (續)

昭和 5年	長崎			函館			下關		
	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者	未婚率
25	1,704	365	21.42	1,763	254	14.41	4,377	404	9.23
26	1,637	306	18.69	1,610	178	11.06			
27	1,629	225	13.81	1,611	151	9.37			
28	1,580	164	10.38	1,592	112	7.04			
29	1,596	168	10.53	1,434	82	5.72			
30	1,599	118	7.38	1,458	63	4.32	3,612	179	4.96
31	1,454	119	8.18	1,277	54	4.23			
32	1,594	98	6.15	1,401	44	3.14			
33	1,436	78	5.43	1,291	40	3.10			
34	1,416	65	4.59	1,165	41	3.52			
35	1,307	64	4.90	1,140	26	2.28	2,835	81	3.20
36	1,236	47	3.80	1,094	27	2.47			
37	1,240	49	3.95	1,057	16	1.51			
38	1,132	38	3.36	1,050	19	1.81			
39	1,031	37	3.59	955	14	1.47			
40	1,059	31	2.93	963	9	0.93	2,491	51	2.05
41	1,081	31	2.87	952	8	0.84			
42	1,003	23	2.29	912	9	0.99			
43	1,019	32	3.14	888	9	1.01			
44	854	21	2.46	837	10	1.19			

昭和 10年	長崎			函館			下關		
	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者	未婚率	女子總數	未婚者	未婚率
25	1,842	462	25.08	1,864	352	18.88	1,264	219	17.33
26	1,732	336	19.40	1,813	258	14.23	1,252	161	12.86
27	1,728	280	16.20	1,761	205	11.64	1,142	108	9.46
28	1,633	217	13.29	1,717	165	9.61	1,205	112	9.29
29	1,389	167	12.02	1,439	118	8.20	1,038	84	8.09
30	1,437	117	8.14	1,523	98	6.43	1,012	63	6.23
31	1,436	104	7.24	1,433	60	4.19	957	43	4.49
32	1,501	104	6.93	1,441	50	3.47	1,016	38	3.74
33	1,416	84	5.93	1,484	50	3.37	1,021	35	3.43
34	1,379	60	4.35	1,294	51	3.94	892	33	3.70
35	1,427	56	3.92	1,361	25	1.84	935	25	2.67
36	1,274	51	4.00	1,160	22	1.70	812	22	2.71
37	1,345	41	3.05	1,205	24	1.99	818	17	2.08
38	1,268	31	2.44	1,165	17	1.46	777	20	2.57
39	1,282	31	2.42	1,049	19	1.81	741	18	2.43
40	1,139	29	2.55	989	11	1.11	737	11	1.49
41	1,139	23	2.02	950	15	1.58	654	16	2.45
42	1,070	27	2.52	904	13	1.44	633	7	1.11
43	1,032	24	2.33	942	9	0.96	614	6	0.98
44	959	9	0.94	815	9	1.10	526	8	1.52

第九表 全國及び六大都市女子平均婚姻年齢

	全 國		東 京		大 阪		名 古 屋		京 都		神 戸		横 濱	
	婚姻	初婚	婚姻	初婚	婚姻	初婚	婚姻	初婚	婚姻	初婚	婚姻	初婚	婚姻	初婚
大正 8 年 <sup>イ</sup>	24.34	23.30	26.353	25.149	26.845	25.954	26.442	25.267	26.004	25.084	26.619	25.917	27.103	25.821
大正 11 年 <sup>イ</sup>	23.98	23.01	25.910	24.886	26.027	25.121	24.615	23.735	25.500	24.494	25.541	24.774	26.190	25.126
大正 14 年 <sup>ロ</sup>	24.02	23.12	25.767	24.695	25.833	24.961	24.806	24.092	25.523	24.586	25.939	24.943	26.633	25.559
昭和 5 年 <sup>ハ</sup>	24.07	23.21	25.750	24.740	25.855	24.814	24.643	23.977	25.363	24.457	25.925	24.839	25.955	25.171
昭和 10 年 <sup>ニ</sup>	24.61	23.81	25.966	25.091	26.346	25.557	25.316	24.531	25.736	24.947	26.119	25.244	26.284	25.346

女子の未婚残存率に就て

註 大正 9 年は資料なし

婚姻は再婚を含む

イ 統計時報第 10 號    ロ 同第 16 號    ハ 同第 37 號    ニ 同第 64 號

六大都市の平均初婚年齢：大正 8 年 25.532：大正 11 年 24.689：大正 14 年 24.806：昭和 5 年 24.666：昭和 10 年 25.119

神戸、横濱及び其他の海港都市—六大都市中神戸は他市に比して非常に未婚残存率低く、往々にして郡部と大差なく、折に郡部より更に低い例さへあるのである。横濱は神戸程ではないが矢張り低率である。

神戸市は昭和五年及び同十年に於ける名古屋を除いては常に最低率を示してゐる。斯かる事實に鑑み、海港都市に何等かの共通性が存するかを見んとして、他に長崎、函館、下關の三海港都市を参考のために擧げてみた。その結果は長崎は稍、高率であるが、函館、下關は可なり低いことを示してゐる。然し神戸は海港都市中でも特に低く、横濱に就ても神戸に次いで大體同様のことを言ひ得るのである。

他の海港都市は多分に地方的色彩を帯びてゐるので暫く措くとしても、神戸は純然たる海港都市であるので、其處に何等かの社會的特殊性が介在することと考へられるのであるが、それが如何なる理由によるものであるかは大阪、京都のそれと等しく今俄かに推定を許さないものがある。

次に未婚残存率と密接な關係のある平均初婚年齢を國勢調査年度順に全國及び六大都市別に比較して早晚婚の現象を調べてみた。全國は豫期の如く、六大都市より遙かに低率である。大正九年の資料が手許になく、蒐集困難であるため、大正八年と同十一年を参考のために採つてみたのであるが、大正八年は第一回國勢調査以前の資料であり、統計蒐集方法を異にし、或は他の社會的原因によるものであるか、後年度のそれに比して著しく高率を示してゐるのである。故にこれらを除いて大正十四年以後の統計のみを採つてみると、全體的に昭和五年が低下し、同十年は上昇してゐる。後期の上昇は事實上晩婚の傾向を示すものと考へられるのである。

未婚率の最も高い東京市の初婚年齢は寧ろ他市に比して低く、その自然増加率が名古屋に次いで高いことと共に同市の女性が晩婚でないことを示してゐる。従つて未婚率の高いことは他の社會的原因によるものと考へら

れるのである。

大阪市の初婚年齢は稍、高く、六大都市中昭和十年度では最も晩婚となつてゐる。然し大阪市の未婚残存率は六大都市中では低位にあり、晩婚乍ら比較的多くの女子が結婚してゐるのであるが、夫婦の共稼ぎ及び産兒の制限、産業都市の女子有業人口に及ぼす生理的影響等が増殖力の低率な大阪の人口と關聯せしめてゐるのではあるまいか。

名古屋市の女子は六大都市中大體最も早婚で未婚率の低きことと正比例してゐるのである。

東京市に次いで未婚率の高い京都市の初婚年齢は名古屋に次いで低位にある。従つて京都市に於ける女子の早婚と未婚率の高いことは對蹠的な現象を示してゐるものであり、この間の理由は不明である。

神戸市は稍、高率で晩婚を示してゐるのであるが、未婚率は六大都市中最低に近いのであるから兩者の間には相關性は見られない。

横濱市は昭和十年の大阪市を除いて六大都市中大正十一年以後最も高く晩婚である。然し同市の未婚率も低い方であるから、ここでも兩者以外の原因が介在するものと考へられる。

これらの數字を通じて見ると、未婚率と平均初婚年齢のものには豫期せる如き密接な關聯は見られないのである。従つて未婚率に對する説明は他の諸原因に俟つべきものと考へられるのである。

尙女子の未婚残存率と職業の分布状態に何等かの相關性があるか否かを見るために昭和五年の六大都市の未婚女子の職業別人口を調べてみた。

未婚残存率の最も高い東京は有業人口も三一・七一%で最も多く、京都は二九・六六%で未婚率と正比例の現象を呈してゐる。大阪は二四・九七%、名古屋は二四・七四%で大差なく、残存率の低い神戸は二二・四六%、横濱は更に低く一八・四〇%で共に未婚率と正比例してゐるのである。

この反面を示すものが無業人口であり、従つて東京は六八・二九%で最

第十表 女子未婚人口の職業分類  
六大都市（昭和五年）

	東京		大阪		名古屋		京都		神戸		横濱	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
總 數	499,390	100.00	555,350	100.00	226,731	100.00	188,497	100.00	180,548	100.00	150,424	100.00
1 一 9	158,373	31.71*	138,673	24.97	56,103	24.74	55,901	29.66	38,752	21.46	27,673	18.40
1 農 業	68	—	375	0.27	1,020	1.82	124	0.22	73	—	776	2.80
2 水 産 業	3	—	—	—	—	—	—	—	15	—	2	—
3 鑛 業	—	—	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 工 業	15,047	9.50	38,339	27.65	23,802	42.43	13,124	23.48	7,180	18.52	4,796	17.33
5 商 業	48,463	30.60	36,498	26.32	12,779	22.78	15,910	28.46	11,597	29.93	7,629	27.57
6 交 通 業	2,867	1.81	5,586	4.03	1,707	3.04	1,196	2.14	1,814	4.68	754	2.72
7 公 務 自 由 業	21,007	13.26	14,557	10.50	5,618	10.01	4,700	8.41	4,801	12.39	4,052	14.64
8 家 事 使 用 人	69,120	43.64	41,822	30.16	10,579	18.86	20,435	36.56	12,420	32.05	9,203	33.26
9 其 他 の 有 業 者	1,798	1.14	1,485	1.07	597	1.06	412	0.74	852	2.20	461	1.67
10 無 業	341,017	68.29*	416,677	75.03	170,628	75.26	132,596	70.34	141,796	78.54	122,751	81.60

\* 有業人口(1—9)及び無業者の百分率は女子總數に對するもの。其他は有業人口に對する部門別のものである。

も少く、京都は七〇・三四%で東京に次いで低く、大阪は七五・〇三%、名古屋は七五・二六%で略、等しく、神戸は七八・五四%、横濱は最も多くて八一・六〇%である。

職業の分布状態は第十表の示す如くであるが、主要なるものを擧げてみると、工業では名古屋が最も高く四二・四三%を占め、東京は九・五〇%で最も低い。名古屋のみを擧げてみると、その職業中工業が斷然頭角を抜き産業方面に最も多くの女子が進出してゐることを示してゐる。にも拘らず名古屋市の昭和五年度に於ける未婚率は六大都市中最低に近いのであるが、女子の勤続年限が比較的短期間である關係からそのことが結婚難を促進する程の影響を及ぼしてゐないのであらうと考へられる。其他は大阪、京都、神戸、横濱の順位で、東京、名古屋の中間を占めるものである。

商業は東京が三〇・六〇%で最高を占め、神戸が二九・九三%でこれに次いでゐる。他の四都市は京都、横濱、大阪、名古屋の順であるが、ここでは工業に見る如き凸凹は見られず、最低の名古屋が二一・七八%でその間の開きは左程甚だしくない。ここで注目されることは神戸の商業人口が高率であることで、周知の如く商業、特に中小商業は地方に於ける農業と等しく、都市に於て女子が結婚によつてその職業上の地位に影響されること最も少いものであり、換言すれば結婚前は勿論結婚後と雖も最も自然に家事の傍ら、その家業たる商業に携はり得るのである。従つて斯かる理由から未婚者の商業人口の高率は一方多數の女子が比較的容易に結婚し得ることにより、同市の女子未婚残存率を低下せしめてゐることと關聯してゐるのであるまいか。尙東京が未婚率高きにも拘らず昭和五年の同市の自然増加率が六大都市中名古屋、横濱に次いで高いことにも女子の商業人口の多いことと有機的な關係を包含してゐるのではないかと考へられるのである。

公務自由業は各都市共大差なく、只ここでは横濱が一四・六四%で最高を示し、東京の一三・二六%を凌駕してゐることは、横濱在住の諸外國領

女子の未婚残存率に就て

事館員、諸企業出張所員及びこれらに附隨の事業關係者等に關聯してこの分野の人口が比較的に多いのではあるまいか。然し横濱市のみから云へば決して公務自由業が有業人口の最高を占めてゐるのではないのである。他の四市は神戸、大阪、名古屋、京都の順位を示してゐる。

未婚女子の有業人口中、名古屋を除く他の五市に於ては、家事使用人が何れも最高率を示してゐるのである。東京が四三・六四%で最も多く、京都が三六・五六%で東京に次ぎ、横濱三三・二六%、神戸三二・〇五%、大阪三〇・一六%の順であり、名古屋がずつと下つて一八・八六%であるのは興味深い。これは寧ろ名古屋が残存率に於て稍、郡部型に類似してゐる點から推測すると、名古屋では地方に準じて家政を主婦其他の婦人達自身の手によつて處理する關係から使用人も少いのであらうと考へられるのである。

斯くて上述の六大都市に於ける未婚女子の有業人口の多寡は大體に於てその未婚率の高低と正比例してゐることを指摘し得るのである。

結語——以上に於て述べし如く二五—四四歳の年齢層の女子未婚者は郡部よりも都市が晩婚であり、六大都市中東京、京都が特に未婚率高く、神戸、横濱の低率が注目されるのである。又近年全國的に漸く晩婚の傾向が現はれてゐることも事實である。

現在勞働力供出の關係から國民皆勞が唱へられ、女子のより積極的な勞務動員も必至の情勢にある。斯かる機運に並行して國家は早婚を奨励し、人口増殖の促進に關して凡ゆる對策を講じつつあるのであるが、未だ理論と政策の實踐には懸隔少からざるを思はしめるのである。問題多き人口の増殖と女子の勞務動員を如何にしてよく兩立せしむべきであるか。今後の婦人勞働對策の樹立には比較的勤続年限の短い未婚女子のみならず、寧ろ既婚女子が對象とされなくてはならぬのではあるまいか。このことは國家的見地より人的資源を最大限度に活用するためにも不可避の問題であり、將來より眞摯な態度で取上げられる研究課題であると思ふ。